

平成 30 年度 乳用牛における農場管理技術研修会 「農場 HACCP 及び JGAP による農場管理」を開催しました

平成 30 年 12 月 14 日、公益社団法人中央畜産会 見學一宏 主査を講師に招いて、標記研修会を開催しました。

講義では見學一宏 講師から、HACCP の成り立ちから構築の手順、農場 HACCP 導入のメリットについて分かり易く解説いただきました。また、JGAP については、農場 HACCP 認証と JGAP 差分審査、JGAP フル審査、GAP 取得チャレンジシステムの比較等、詳しく説明いただきました。

現地見学では、搾乳施設の紹介と農場 HACCP の取り組み状況、JGAP 認証取得のために実施したことを紹介しました。参加者からは、農場 HACCP と JGAP 認証取得して良かったこと、農場経営上のメリットについて質問がありました。

本研修会には、畜産関係者 39 名の参加があり、岩手県立農業大学校の学生も多数参加され、新しい農場管理技術を学んでいただきました。これから担い手となる若い皆さんが、就農先で農場 HACCP や JGAP 認証取得の原動力になっていただければ幸いです。

岩手牧場では、農場 HACCP・JGAP 認証農場として、取得のノウハウや農場管理の実践について研修会や講演会を通じて畜産農家に情報を発信していきます。



左：中央畜産会 見學一宏講師による講演の様子。

アンケートでは、HACCP と JGAP の審査の区分や考えについて参考になったと回答いただきました。

下：現地見学の様子。

左：搾乳パーラーでの農場 HACCP 取組状況として、週内の消毒・点検作業の掲示、搾乳作業チェック表記入について紹介しました。

右：機械整備場での JGAP 取組状況として、火気厳禁表示とオイル類の受払簿設置について紹介しました。

